

## 海人科全体計画

### 1 ねらい

- (1) 糸満市の教育課程特例校として開設される「海人（うみんちゅ）科」として、糸満の海に関する学習を展開し、糸満の海に関する興味関心を高める
- (2) 海洋に関する諸課題について、多面的・多角的に捉えて、調査・探究することを通して、課題を解決していこうとする態度を育てる
- (3) 各教科との横断的な関連を図り、生徒の学習意欲を高め、深い学びにつなげる

### 2 本年度のテーマと各学年のテーマ

|             |                                     |
|-------------|-------------------------------------|
| <b>全 体</b>  | <b>海と人とが共生できる未来を考えよう</b>            |
| <b>1 学年</b> | 「地域」：海と地域の関わりや海とくらしの関わりについて探究しよう    |
| <b>2 学年</b> | 「環境」：海の環境について調査し、環境保全について探究しよう      |
| <b>3 学年</b> | 「持続可能」：海を活かしたこれからの糸満のまちづくりについて探究しよう |

### 3 方 針

- (1) 各学年、10 時間程度の時間設定とする
- (2) 各学年の総合的な学習の時間のテーマ、探究課題との関連を図って実施する
- (3) 体験的な活動を活かした探究的な学習になるように工夫する
- (4) 各教科と横断的に関連させる
- (5) 小学校の取り組みを踏まえて計画し、9 年間を見通して計画を立てる
- (6) 全職員の共通理解を図り、連携して取り組むようにする
- (7) 糸満市海洋教育副読本『糸満の海』を活用する。

### 4 学習内容と具体的取組み

#### 【1 学年】

|      |  |
|------|--|
| 取組内容 | 「地域」とSDGsの視点で海洋教育について取り組む。海と地域の関わりや、海とくらしの関わりについて、探究させる取り組みとしたい。 |
|------|--|

| 時数 | 学習内容              | 具体的取組   |
|----|-------------------|---|
| 5  | SDGs 学習           | 世界が解決すべき17の目標（SDGs）の学習を通して、目標14『海の豊かさを守ろう』やそれに関連する目標について話し合う。<br>特に、プラスチックごみを減らすためにできることを「5R」の視点で考える。（糸満市海洋教育副読本『糸満の海』の活用）【関連：総合】 |
| 4  | 地域を知る<br>フィールドワーク | 地域（嘉手志川・南山城）の調べ学習に関連して、海の自然や資源、人や地域の歴史との関わりについて深い理解を得る。【関連：総合 社会】   |
| 2  | 地域清掃ボランティア        | 海の環境保全のために私たちができることの一つとして地域の清掃ボランティアに取り組む。【関連：総合】   |
| 2  | 体験のまとめ            | 地域を知り、地域と関わることを通して、海の恩恵や結びつきについて理解し、これからも海と共に生きていくために自分たちができることを考える。【関連：総合】   |
| 合計 | 13                |   |

## 【2学年】

|      |  |
|------|--|
| 取組内容 | 「環境」の視点で海洋教育に取り組む。海岸での体験活動を通して、海に対する豊かな感受性や関心を培い、海の環境保全にかかわろうとする態度を育成する。 |
|------|--|

| 時数 | 学習内容             | 具体的取組   |
|----|------------------|---|
| 2  | 体験活動事前学習         | 糸満市のごみ問題について講師を招き講話を行う。<br>糸満市や地域のゴミの現状や課題などを大まかに学習して、清掃活動を実施する前の意欲を高めさせ、事前に必要な知識や内容を確認する。【関連：理科】 |
| 4  | 530（ごみゼロ）運動      | 糸満市の海岸（潮崎町南浜）の清掃活動を実施する。<br>活動を通して自然環境の情報収集を行う。【関連：総合】  |
| 1  | 体験活動ふりかえり        | 体験のふりかえりを行い、体験の感想や体験を通して気づいた課題をまとめる。【関連：総合】   |
| 2  | 海を守るために私たちができること | 体験を通して気付いた事や、探究したい課題を見つけて解決するための調べ学習を行う。（糸満市海洋教育副読本『糸満の海』の活用）【関連：総合】                              |
| 2  | まとめ              | 体験を通して気付いた課題解決に向けて話し合う。<br>SDGsの知識をもとに、主に環境についての課題をPBL学習と関連させて実施する。【関連：総合】                        |
| 合計 | 11               |   |

## 【3学年】

|      |   |
|------|---|
| 取組内容 | 「持続可能」の視点で海洋教育に取り組む。過去から現在、将来につながる海の利用の在り方や、海を活かしたまちづくりの在り方を考える |
|------|---|

| 時数 | 学習内容               | 具体的取組   |
|----|--------------------|---|
| 2  | 糸満市のまちづくりオリエンテーション | 糸満市のまちづくりの提案において、海を活かし、持続可能な生活を基本にしたこれからの生活の在り方を中心に探究活動の方法を確認する。【関連：総合】                       |
| 2  | 糸満市の成り立ち           | 糸満市の地理や歴史、伝統や文化などを調査し、今と昔の暮らしの移り変わり、現在の糸満市の状況を学習する。<br>また、今後の糸満市の発展に向け、良い点や課題を発見する。【関連：総合 社会】 |
| 2  | 糸満市の水産資源           | 糸満市でとれる魚の種類や漁獲量など、水産資源の調査を行う。また、水産資源を活用した創作料理を考案する。<br>（糸満市海洋教育副読本『糸満の海』の活用）【関連：家庭科 社会】       |
| 4  | 糸満市のまちづくり          | 海の環境や資源を生かした持続可能なまちづくりについて考え、海と共に生きるよりよい地域・社会の在り方について話し合う。【関連：総合】                             |
| 2  | まちづくりのまとめ発表の作成     | 各グループでまとめた結果を発表する。<br>PBL学習と関連させて実施する。【関連：総合】   |
| 合計 | 12                 |   |